

世界標準債券ファンド 〈愛称 ニューサミット〉

運用報告書（全体版）

第185期（決算日 2025年8月18日）第187期（決算日 2025年10月17日）第189期（決算日 2025年12月17日）
第186期（決算日 2025年9月17日）第188期（決算日 2025年11月17日）第190期（決算日 2026年1月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「世界標準債券ファンド」は、2026年1月19日に第190期の決算を行ないましたので、第185期から第190期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2010年3月18日から2030年1月17日までです。
運用方針	主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などをいいます。)を主要投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマースナル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<641251>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落				
	円	円	円	%	%	%	百万円	
161期(2023年8月17日)	3,782	20		0.9	—	98.4	6,312	
162期(2023年9月19日)	3,753	20		△0.2	—	98.4	6,223	
163期(2023年10月17日)	3,638	20		△2.5	—	98.4	5,977	
164期(2023年11月17日)	3,778	20		4.4	—	98.5	6,123	
165期(2023年12月18日)	3,689	20		△1.8	—	98.5	5,850	
166期(2024年1月17日)	3,791	20		3.3	—	98.2	5,970	
167期(2024年2月19日)	3,840	20		1.8	—	98.5	5,981	
168期(2024年3月18日)	3,847	20		0.7	—	98.5	5,928	
169期(2024年4月17日)	3,784	20		△1.1	—	98.4	5,795	
170期(2024年5月17日)	3,927	20		4.3	0.1	98.5	5,989	
171期(2024年6月17日)	3,753	20		△3.9	0.1	98.5	5,666	
172期(2024年7月17日)	3,894	20		4.3	0.1	97.8	5,830	
173期(2024年8月19日)	3,662	20		△5.4	0.1	98.3	5,441	
174期(2024年9月17日)	3,515	20		△3.5	0.1	97.7	5,203	
175期(2024年10月17日)	3,594	20		2.8	0.1	97.8	5,269	
176期(2024年11月18日)	3,555	20		△0.5	0.1	98.5	5,178	
177期(2024年12月17日)	3,538	20		0.1	0.1	98.5	5,077	
178期(2025年1月17日)	3,430	20		△2.5	0.1	98.5	4,889	
179期(2025年2月17日)	3,476	20		1.9	0.1	98.4	4,911	
180期(2025年3月17日)	3,420	20		△1.0	0.1	98.5	4,790	
181期(2025年4月17日)	3,247	20		△4.5	0.1	98.5	4,522	
182期(2025年5月19日)	3,386	20		4.9	0.1	98.4	4,687	
183期(2025年6月17日)	3,441	20		2.2	0.1	98.5	4,727	
184期(2025年7月17日)	3,539	20		3.4	0.1	98.4	4,838	
185期(2025年8月18日)	3,555	20		1.0	0.1	98.5	4,829	
186期(2025年9月17日)	3,598	20		1.8	0.1	97.8	4,856	
187期(2025年10月17日)	3,693	20		3.2	0.1	98.4	4,937	
188期(2025年11月17日)	3,733	20		1.6	0.1	98.5	4,931	
189期(2025年12月17日)	3,732	20		0.5	0.1	98.5	4,884	
190期(2026年1月19日)	3,832	20		3.2	0.1	98.6	4,987	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比	投 資 信 託 組 入 比	信 託 券 率
			騰 落	率			
第185期	(期 首) 2025年 7月17日	円 3,539		% —	% 0.1		% 98.4
	7月末	3,551		0.3	0.1		98.7
	(期 末) 2025年 8月18日	3,575		1.0	0.1		98.5
第186期	(期 首) 2025年 8月18日	3,555		—	0.1		98.5
	8月末	3,558		0.1	0.1		98.4
	(期 末) 2025年 9月17日	3,618		1.8	0.1		97.8
第187期	(期 首) 2025年 9月17日	3,598		—	0.1		97.8
	9月末	3,610		0.3	0.1		98.5
	(期 末) 2025年10月17日	3,713		3.2	0.1		98.4
第188期	(期 首) 2025年10月17日	3,693		—	0.1		98.4
	10月末	3,750		1.5	0.1		98.6
	(期 末) 2025年11月17日	3,753		1.6	0.1		98.5
第189期	(期 首) 2025年11月17日	3,733		—	0.1		98.5
	11月末	3,766		0.9	0.1		98.6
	(期 末) 2025年12月17日	3,752		0.5	0.1		98.5
第190期	(期 首) 2025年12月17日	3,732		—	0.1		98.5
	12月末	3,770		1.0	0.1		98.5
	(期 末) 2026年 1月19日	3,852		3.2	0.1		98.6

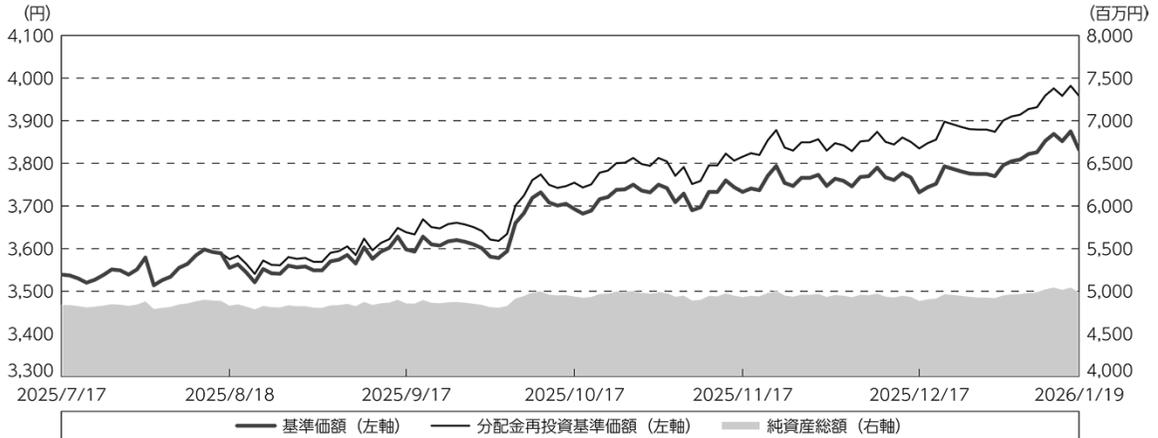
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年7月18日～2026年1月19日)

作成期間中の基準価額等の推移



第185期首：3,539円

第190期末：3,832円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：11.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2025年7月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ 利回りの高い現地通貨建て債券への投資によるインカム収入を得たこと。
- ・ メキシコやインドネシアの債券利回りが低下(債券価格は上昇)したこと。
- ・ メキシコペソ、オーストラリアドル、インドネシアルピアが対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・ 債券市場のボラティリティ(変動性)が時折高まり、スプレッド(利回り格差)が拡大したこと。
- ・ オーストラリアの債券利回りが上昇(債券価格は下落)したこと。

投資環境

(海外債券市況)

2025年後半は経済成長懸念が和らいだ一方、政策の複雑化が進むなか、市場は楽観的な姿勢から調整局面へと移行しました。リスク資産は当初、堅調な経済活動と早期の金融緩和に支えられましたが、年末にかけて世界的な金利見通しの見直しに直面しました。

2025年第3四半期はリスク資産にとって前向きな環境となりました。世界の株式と債券は、経済指標が相次いで市場予想を上回り、懸念されていた関税によるインフレへの影響が現れなかったことで上昇しました。堅調な経済成長と物価上昇圧力の緩和により、中央銀行はより柔軟な対応が可能となり、9月には米国連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを実施しました。この転換は、米国国債をはじめとする金利の変動に敏感な資産にとって追い風となり、金は記録的な上昇を見せました。一方、地域によって状況はまちまちとなりました。欧州の長期国債は引き続き圧力にさらされ、特にフランスでは財政の悪化や政治的な不安定感によりリスクプレミアムが高止まりしました。それでも、第3四半期はインフレが抑制され、リスク資産にとって支援的なマクロ経済環境を確認する結果となりました。

10月には政策の不確実性により、ボラティリティが再び高まりました。市場は、米国の関税に関する新たな情報や、早期の金融緩和期待を後退させる中央銀行のメッセージに翻弄されました。関税を巡る対立の休戦期間の延長によって安堵感が広がり、リスクオフの動きは一服しましたが、株式市場を牽引するほどではありませんでした。米国のテクノロジー株が上昇を牽引する一方、銀行株はイールドカーブ（利回り曲線）の動向や規制に対する懸念により低迷しました。日本では財政出動への期待から株価指数が上昇し、堅調な動きを見せました。日銀の利上げ観測が後退するなか日本円は下落したものの、アメリカドルは上昇しました。ユーロはフランスの財政懸念と格下げにより再び圧迫されました。債券市場では、FRBが0.25%の利下げを実施しましたが、さらなる金融緩和への明確な姿勢は示さなかったため、米国国債利回りは上昇しました。欧州のスプレッドは政治的不確実性により一時的に拡大しましたが、その後安定しました。

11月は米国の金融政策を巡る市場予想の急変が特徴的でした。堅調な経済指標とFRBのタカ派（景気に対して強気）的な姿勢により、一時的に利下げ期待が後退するなか、株式市場は一時下落して、ボラティリティが急上昇しました。その後、弱い雇用統計やハト派（景気に対して弱気）的なシグナルにより政策支援への期待が復活し、月末には株式市場が安定しました。欧州の株式市場はロシア・ウクライナの和平への進展に対する慎重かつ楽観的な見方から前向きに推移しましたが、防衛関連株は軟調に推移し、エネルギー価格は引き続き低下しました。日本は財政出動への期待が国債利回りを押し上げ、株式を圧迫し円安を招いたため、軟調な推移となりました。

12月は世界的な金融政策の見通しがよりタカ派的な方向に転換した月となりました。先進国の中央銀行が引き締めの姿勢を示したことで、債券市場では広範な売り圧力が強まりました。日銀が政策金利を0.75%に引き上げたことなどから、日本国債の利回りは年末にかけて上昇しました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）メンバーの発言や成長・インフレ見通しにより、ECBの次の一手が利上げになるとの見方が強まり、長期債利回りは上昇しました。オーストラリアやカナダ、ニュージーランドでも同様の見直しが行なわれ、堅調な需要とインフレ圧力の再燃により、2026年に金融引き締めが再開するとの予想が織り込まれました。

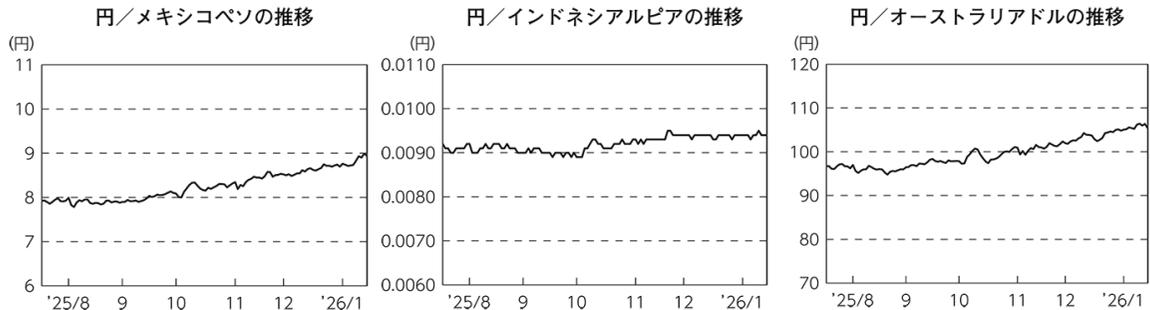
2025年末までに、投資家は金融緩和のペースよりも持続性を議論するようになりました。2025年後半は、政策支援への楽観的な見方から、金利がより長期間高い水準で推移する可能性へと市場の見方が転換しました。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺から上昇し、0.73%近辺で期間末を迎えました。国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.37%近辺から徐々に上昇し、0.68%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

期間中、主にFRBのハト派的な姿勢の強まりによって金融緩和への転換が進み、各国の市場においても金利が低水準を維持するとみて、金利エクスポージャーを高水準に維持しました。アメリカドルの弱含みが続くなか、メキシコペソをはじめとした高利回り・高ベータな通貨に下支えされました。ボラティリティが高まる局面でも、メキシコの堅調なマクロ経済基盤や、メキシコが引き続き外国資本にとって魅力的であることなどから、当ファンドではメキシコペソの投資比率を高めに維持しました。重要な点として、米国の関税措置から米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）の対象品目が除外されたことで、メキシコの経済成長見通しに対する下振れリスクが軽減され、投資比率を維持する根拠が強化されました。アジアでは、積極的な投資比率の見直しを実施しました。政治リスクと政策の不確実性の高まりがボラティリティを上昇させ、投資家心理の悪化を招いたことから、インドネシアルピアの投資比率を相対的に低くしました。一方、オーストラリア準備銀行（RBA）のハト派的な姿勢が後退し、より慎重な緩和姿勢を示唆したことにより、同通貨の下支えが強まっていることなどから、オーストラリアドルの投資比率を引き上げました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
	2025年7月18日～ 2025年8月18日	2025年8月19日～ 2025年9月17日	2025年9月18日～ 2025年10月17日	2025年10月18日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2025年12月17日	2025年12月18日～ 2026年1月19日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.559%	20 0.553%	20 0.539%	20 0.533%	20 0.533%	20 0.519%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	528	535	542	549	553	561

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

オーストラリアでは、RBAは、2025年12月の金融政策決定会合で政策金利を3.60%に据え置くことを決定しましたが、足もとで物価が底堅い動きを示し、経済活動指標が予想以上に堅調であったことを受けて、インフレの上振れリスクに対する警戒感を高めてタカ派的な姿勢を強めています。インフレの勢いが再加速するなか、10月の総合消費者物価指数(CPI)の上昇率は前年同月比3.8%、RBAが重視するCPIトリム平均値の上昇率は同3.3%となり、いずれもRBAの目標範囲である2～3%を上回りました。サービス分野主導で物価上昇圧力が継続するなか、デysinフレが停滞している可能性があるとの懸念が強まっています。12月の購買担当者景気指数(PMI)は依然として景気拡大・縮小の分かれ目となる50を上回っており、総合PMIは、内需の底堅さや雇用の改善、コスト圧力の高まりなどに下支えされ、51程度となっています。こうした状況を踏まえて、RBAは、金融環境が十分に引き締めめであるとの確信が薄れつつあることや、政策金利の引き上げについて議論がなされていることに言及するなど、RBAの姿勢に変化が見られています。これ

に応じて市場予想も変化しており、2026年中盤以降の利上げがかなりの確率で織り込まれており、2025年第4四半期のインフレ指標で基調的な物価上昇圧力の持続性が確認されれば、利上げ時期の予想が前倒しされる可能性もあります。RBAは金融引き締めサイクルを事前に決定することを避けていますが、リスクバランスは金融引き締めに傾いています。

インドネシアでは、インドネシアの中央銀行は、2025年後半に金融政策を大幅に調整し、政策金利の引き下げを実施した後、12月は4.75%に据え置きました。これらの動きは、2024年以降の利下げに続くものであり、インフレ率を1.5~3.5%の目標範囲内に収めることや、本国通貨ルピアを安定させること、国内経済の低迷が見られるなか経済活動を下支えする必要があることなどを受けたものです。期間を通じて、同中央銀行は景況感の低迷や労働市場の伸びが限定的な状況により家計消費が引き続き低調となる一方で、政府支出の増加や輸出の持ち直し、財政支出の加速によって、2025年後半の経済成長はより強まるとの見通しを示しました。同中央銀行は財政措置を補完するために、流動性の供給やマクロブロード政策（金融システム全体のリスクを評価・分析し安定を図る政策）の強化、デジタル決済インフラの拡充により金融政策の波及効果の向上を図りました。今後の見通しについて、同中央銀行は政策の方向性は本国通貨ルピアの安定性やインフレ動向、また、米国を主とした世界の金融環境次第であると強調しました。さらなる金融緩和の余地は残されているものの、追加利下げを実施するには、外部環境の脆弱性と通貨の安定性との慎重なバランスが求められます。

メキシコでは、メキシコの中央銀行は2025年後半を通じて慎重かつ段階的な金融緩和とサイクルを維持し、低迷する経済を下支えしつつ、デフインフレの進展を保つために、利下げを継続しました。12月には政策金利は7.00%まで引き下げられましたが、同中央銀行副総裁が利下げに繰り返し反対票を投じており、インフレ圧力が高止まりするなか、内部の慎重な姿勢が浮き彫りになりました。しかし、同中央銀行は総合インフレ率が目標の3%に戻るのには2026年第3四半期頃まで見込めないとしており、引き続き段階的な金融緩和の必要性を強調しました。マクロ経済指標はこの必要性を裏付ける内容となり、2025年後半を通じて総合インフレ率の減速はわずかなものに留まり、コアインフレ率は高止まりしています。経済は潜在成長率を下回る水準で推移しており、同中央銀行は内需の弱さや、米国の通商政策および広範な地政学的動向に関連する不確実性を背景に、需給の緩みが続き、2025年第3四半期の国内総生産（GDP）成長率が鈍化したことを指摘しました。一方、メキシコは引き続き安定した資本流入やニアショアリング（地理的に近い国や地域に事業を移転すること）投資の誘致を継続しています。このような環境の下、同中央銀行は2026年初めに追加利下げを実施する可能性があるものの、インフレ率の上振れリスクの根強さやコアインフレ率の減速が限定的であることを踏まえ、利下げペースは緩やかとなり、データに基づく決定になると示唆しました。

当ファンドでは、インフレ率に対して金利が高く実質的なインカムの創出が高水準である市場、通貨のバリュエーション（価値評価）が魅力的な水準にあり長期的に上昇が見込まれる市場、構造改革に下支えされた長期的な成長ポテンシャルがある市場、制度的な信頼が強固である市場に着目し、引き続き積極的に新規投資機会を追求していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 7 月18日～2026年 1 月19日)

項 目	第185期～第190期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 21	% 0.583	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(7)	(0.202)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.364)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.019	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(1)	(0.016)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	22	0.602	
作成期間の平均基準価額は、3,667円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

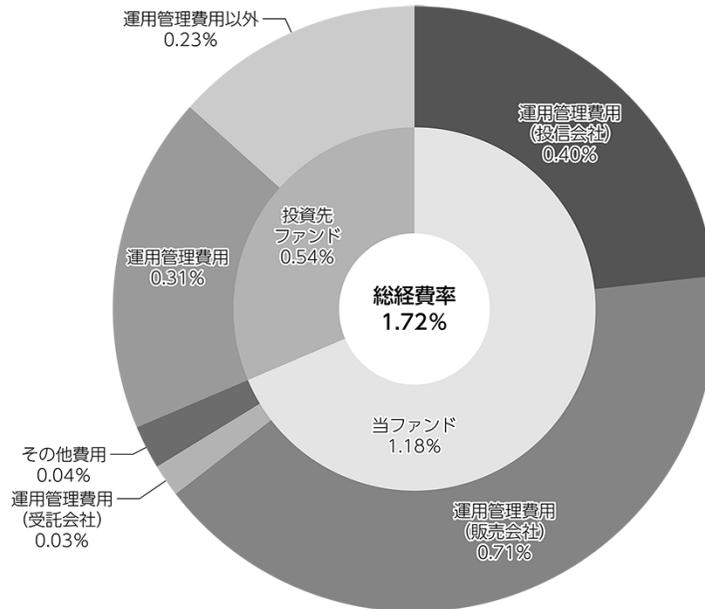
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.72
①当ファンドの費用の比率	1.18
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年7月18日～2026年1月19日)

投資信託証券

銘 柄		第185期～第190期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA	千口 410,939	千円 158,251	千口 926,604	千円 357,960

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		第185期～第190期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 295	千円 297	千口 109	千円 110

○利害関係人との取引状況等

(2025年7月18日～2026年1月19日)

利害関係人との取引状況

<世界標準債券ファンド>

区 分	第185期～第190期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$		
投資信託証券	百万円 158	百万円 158	100.0 %	百万円 357	百万円 357	100.0 %

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年7月18日～2026年1月19日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年7月18日～2026年1月19日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年1月19日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第184期末	第190期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA		12,782,156	12,266,491	4,918,862	98.6
合	計	12,782,156	12,266,491	4,918,862	98.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第184期末	第190期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		4,698	4,884	4,918

(注) 親投資信託の2026年1月19日現在の受益権総口数は、432,353千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年1月19日現在)

項 目	第190期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	4,918,862	97.8
マネー・アカウント・マザーファンド	4,918	0.1
コール・ローン等、その他	104,885	2.1
投資信託財産総額	5,028,665	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末
	2025年8月18日現在	2025年9月17日現在	2025年10月17日現在	2025年11月17日現在	2025年12月17日現在	2026年1月19日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,874,905,487	4,897,238,697	5,009,005,619	5,007,410,291	4,954,732,631	5,028,665,479
コール・ローン等	112,986,333	142,988,749	144,264,672	145,084,206	138,997,949	104,881,602
投資信託受益証券(評価額)	4,757,057,152	4,749,425,344	4,859,875,763	4,857,404,738	4,810,818,199	4,918,862,962
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	4,860,494	4,802,772	4,863,256	4,906,119	4,906,757	4,918,791
未収入金	—	19,926	—	13,289	7,870	—
未収利息	1,508	1,906	1,928	1,939	1,856	2,124
(B) 負債	45,472,732	41,123,520	71,561,879	76,327,067	69,732,756	41,612,030
未払金	—	—	34,831,229	35,225,197	33,326,048	—
未払収益分配金	27,173,204	26,996,599	26,738,032	26,416,235	26,176,236	26,025,104
未払解約金	12,539,812	8,557,498	4,243,804	8,588,630	4,163,486	8,898,382
未払信託報酬	4,862,786	4,548,314	4,600,670	4,815,286	4,657,480	5,126,470
その他未払費用	896,930	1,021,109	1,148,144	1,281,719	1,409,506	1,562,074
(C) 純資産総額(A-B)	4,829,432,755	4,856,115,177	4,937,443,740	4,931,083,224	4,884,999,875	4,987,053,449
元本	13,586,602,235	13,498,299,943	13,369,016,358	13,208,117,873	13,088,118,358	13,012,552,143
次期繰越損益金	△ 8,757,169,480	△ 8,642,184,766	△ 8,431,572,618	△ 8,277,034,649	△ 8,203,118,483	△ 8,025,498,694
(D) 受益権総口数	13,586,602,235口	13,498,299,943口	13,369,016,358口	13,208,117,873口	13,088,118,358口	13,012,552,143口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,555円	3,598円	3,693円	3,733円	3,732円	3,832円

(注) 当ファンドの第185期首元本額は13,672,346,680円、第185～190期中追加設定元本額は114,489,044円、第185～190期中一部解約元本額は774,283,581円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第185期0.3555円、第186期0.3598円、第187期0.3693円、第188期0.3733円、第189期0.3732円、第190期0.3832円です。

(注) 2026年1月19日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は8,025,498,694円です。

○損益の状況

項 目	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
	2025年7月18日～ 2025年8月18日	2025年8月19日～ 2025年9月17日	2025年9月18日～ 2025年10月17日	2025年10月18日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2025年12月17日	2025年12月18日～ 2026年1月19日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	38,173,094	37,717,070	37,647,517	37,298,877	36,956,945	36,791,479
受取配当金	38,139,987	37,688,213	37,616,377	37,263,044	36,926,025	36,742,504
受取利息	33,107	28,857	31,140	35,833	30,920	48,975
(B) 有価証券売買損益	15,113,733	52,034,842	121,608,680	47,127,602	△ 7,282,605	124,746,460
売買益	15,367,804	52,192,766	122,412,490	47,677,016	486,381	125,324,461
売買損	△ 254,071	△ 157,924	△ 803,810	△ 549,414	△ 7,768,986	△ 578,001
(C) 信託報酬等	△ 5,015,536	△ 4,691,185	△ 4,745,188	△ 4,966,546	△ 4,803,778	△ 5,296,941
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	48,271,291	85,060,727	154,511,009	79,459,933	24,870,562	156,240,998
(E) 前期繰越損益金	△4,085,655,989	△4,032,693,453	△3,930,252,742	△3,751,469,407	△3,659,128,014	△3,634,438,975
(F) 追加信託差損益金	△4,692,611,578	△4,667,555,441	△4,629,092,853	△4,578,608,940	△4,542,684,795	△4,521,275,613
(配当等相当額)	(368,678,116)	(366,751,425)	(363,807,389)	(359,928,453)	(357,224,923)	(355,654,755)
(売買損益相当額)	(△5,061,289,694)	(△5,034,306,866)	(△4,992,900,242)	(△4,938,537,393)	(△4,899,909,718)	(△4,876,930,368)
(G) 計(D+E+F)	△8,729,996,276	△8,615,188,167	△8,404,834,586	△8,250,618,414	△8,176,942,247	△7,999,473,590
(H) 収益分配金	△ 27,173,204	△ 26,996,599	△ 26,738,032	△ 26,416,235	△ 26,176,236	△ 26,025,104
次期繰越損益金 (G+H)	△8,757,169,480	△8,642,184,766	△8,431,572,618	△8,277,034,649	△8,203,118,483	△8,025,498,694
追加信託差損益金	△4,692,611,578	△4,667,555,441	△4,629,092,853	△4,578,608,940	△4,542,684,795	△4,521,275,613
(配当等相当額)	(368,678,116)	(366,751,425)	(363,807,389)	(359,928,453)	(357,224,923)	(355,654,755)
(売買損益相当額)	(△5,061,289,694)	(△5,034,306,866)	(△4,992,900,242)	(△4,938,537,393)	(△4,899,909,718)	(△4,876,930,368)
分配準備積立金	349,681,969	355,690,828	361,508,283	365,348,081	367,444,025	374,395,861
繰越損益金	△4,414,239,871	△4,330,320,153	△4,163,988,048	△4,063,773,790	△4,027,877,713	△3,878,618,942

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2025年7月18日～2026年1月19日)は以下の通りです。

項 目	2025年7月18日～ 2025年8月18日	2025年8月19日～ 2025年9月17日	2025年9月18日～ 2025年10月17日	2025年10月18日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2025年12月17日	2025年12月18日～ 2026年1月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	34,580,901円	35,746,821円	36,526,763円	35,105,674円	32,154,192円	35,586,359円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金増減後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	368,678,116円	366,751,425円	363,807,389円	359,928,453円	357,224,923円	355,654,755円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	342,274,272円	346,940,606円	351,719,552円	356,658,642円	361,466,069円	364,834,606円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	745,533,289円	749,438,852円	752,053,704円	751,692,769円	750,845,184円	756,075,720円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	548円	555円	562円	569円	573円	581円
g. 分配金	27,173,204円	26,996,599円	26,738,032円	26,416,235円	26,176,236円	26,025,104円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○お知らせ

約款変更について

2025年7月18日から2026年1月19日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第16条)
 - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第48条)

その他の変更について

当ファンドが投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資信託「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファン ドクラスA」につき、2025年9月1日付けにて投資顧問会社である「日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド」がその社名を「アモーヴァ・アセットマネジメント・UKリミテッド」に変更いたしました。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA	
	ルクセンブルグ籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	利子収入などを中心とする安定的な信託財産の成長をめざします。	
主な投資対象	ソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など）を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えると見られる国や地域の通貨建てのソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など）を主要投資対象とします。 ・ 通貨選定にあたっては、金利水準を重視し、経済情勢、政治の安定性、市場の流動性なども考慮します。 ・ 原則として、買付時においてBBB（Baa）格相当以上の格付が付与されているソブリン債券に投資します。ただし、債務履行能力が高いと運用会社が判断した場合は、BB（Ba）格相当以下の国や地域のソブリン債券に投資する場合があります。 ・ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式への投資は行ないません。 ・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 	
収益分配	原則として、毎月12日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.31%以内（国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	アモーヴァ・アセットマネジメント・UKリミテッド ※2025年9月1日付で「日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド」から変更	
管理会社	ファンドロック・マネジメント・カンパニー・エス・エイ	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年2月末日	

◆投資明細表

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2025年2月28日現在

数量 額面	銘柄	通貨	(単位：日本円) 市場価格	純資産に占める 割合 (%)
公式取引所に上場されている譲渡可能証券 債券およびその他の債務証券				
オーストラリア				
3,505,000.00	AUSTRALIAN GOVT. 1.75% 20-21/06/2051	AUD	177,174,884	3.6
2,300,000.00	AUSTRALIAN GOVT. 1% 20-21/11/2031	AUD	176,930,385	3.6
5,570,000.00	NEW S WALES TREA 4.25% 23-20/02/2036	AUD	483,952,763	9.8
2,000,000.00	QUEENSLAND TREA 4.5% 23-09/03/2033	AUD	184,253,424	3.7
4,300,000.00	TREAS CORP VICT 2% 21-17/09/2035	AUD	299,993,743	6.0
			1,322,305,199	26.7
インドネシア				
40,000,000,000.00	INDONESIA GOVT 7.375% 17-15/05/2048	IDR	374,552,503	7.6
67,500,000,000.00	INDONESIA GOVT 7.5% 17-15/05/2038	IDR	635,419,355	12.8
37,500,000,000.00	INDONESIA GOVT 8.25% 15-15/05/2036	IDR	373,747,220	7.5
			1,383,719,078	27.9
メキシコ				
50,700,000.00	MEXICAN BONOS 10%06-20/11/2036	MXN	385,519,964	7.8
123,000,000.00	MEXICAN BONOS 7.75% 11-29/05/2031	MXN	835,012,155	16.9
43,500,000.00	MEXICAN BONOS 8.5% 09-18/11/2038	MXN	290,050,167	5.8
23,100,000.00	MEXICAN BONOS 8.5% 09-31/05/2029	MXN	165,094,068	3.3
			1,675,676,354	33.8
英国				
25,200,000,000.00	EURO BK RECON&DV 4.25% 21-07/02/2028	IDR	215,030,475	4.3
			215,030,475	4.3
米国				
400,000.00	INT BK RECON&DEV 0% 11-16/11/2026	AUD	34,943,063	0.7
11,300,000.00	INT BK RECON&DEV 0% 18-25/05/2033	MXN	39,198,159	0.8
2,000,000.00	INT BK RECON&DEV 4.2% 23-21/04/2033	AUD	180,921,149	3.6
			255,062,371	5.1
			4,851,793,477	97.8
有価証券ポートフォリオ合計			4,851,793,477	97.8
純資産の要約				
有価証券ポートフォリオ合計			4,851,793,477	97.8
銀行預金			60,382,429	1.2
その他の資産および負債			47,824,749	1.0
純資産合計			4,960,000,655	100.0

ポートフォリオの内訳

セクター配分	ポートフォリオに 占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
政府	90.3	88.4
国際機関	9.7	9.4
	100.0	97.8

国別配分	ポートフォリオに 占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
メキシコ	34.5	33.8
インドネシア	28.5	27.9
オーストラリア	27.3	26.7
米国	5.3	5.1
英国	4.4	4.3
	100.0	97.8

◆損益計算書および純資産変動計算書

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2025年2月28日に
終了した会計年度
(単位：日本円)

収益		
債券利息	JPY	330,310,859
銀行預金利息		159,060
収益合計		330,469,919
費用		
運用報酬		14,612,231
預託報酬		1,435,245
管理報酬		3,200,340
専門家報酬		3,829,539
年次税		553,096
銀行利息および手数料		1,095,827
名義書換代理人報酬		2,402,741
その他費用		3,394,493
費用合計		30,523,512
投資純利益（損失）		299,946,407
実現純（損）益：		
投資		187,123,339
外国為替取引		(3,344,621)
当期実現純利益（損失）		483,725,125
未実現評価（損）益の純変動額：		
投資		(693,776,474)
運用による純資産の純増加（減少）額		(210,051,349)
受益証券の申込に係る受取代金		448,534,597
受益証券の買戻に係る支払純額		(902,735,738)
収益分配金		(514,446,697)
期首純資産		6,138,699,842
期末純資産		4,960,000,655

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日 2025年10月14日）
（2024年10月16日～2025年10月14日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<636843>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
12期(2021年10月12日)	円	10,023	△0.0	—	—	百万円 1,125
13期(2022年10月12日)		10,022	△0.0	—	—	560
14期(2023年10月12日)		10,018	△0.0	—	—	458
15期(2024年10月15日)		10,023	0.0	61.8	61.8	437
16期(2025年10月14日)		10,057	0.3	60.3	60.3	431

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2024年10月15日	円	10,023	—	—	61.8
10月末		10,024	0.0	—	123.6
11月末		10,025	0.0	—	123.6
12月末		10,026	0.0	—	62.0
2025年1月末		10,027	0.0	—	124.0
2月末		10,030	0.1	—	62.1
3月末		10,033	0.1	—	63.0
4月末		10,037	0.1	—	125.4
5月末		10,040	0.2	—	61.9
6月末		10,044	0.2	—	61.7
7月末		10,047	0.2	—	122.4
8月末		10,051	0.3	—	61.1
9月末		10,055	0.3	—	60.2
(期 末) 2025年10月14日		10,057	0.3	—	60.3

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年10月16日～2025年10月14日)

基準価額の推移

期間の初め10,023円の基準価額は、期間末に10,057円となり、騰落率は+0.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.23%近辺から、2025年1月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.48%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.00%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.43%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

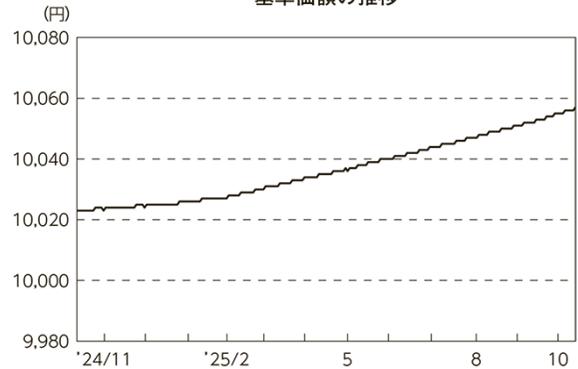
運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2024/10/15	2025/10/14	2024/10/16	2025/10/14
10,023円	10,057円	10,023円	10,057円

○1万口当たりの費用明細

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年10月16日～2025年10月14日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	1,329,265	— (1,340,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年10月14日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率				
					5年以上	2年以上	2年未満		
	千円	千円	%	%	%	%	%	%	
国債証券	260,000	259,957	60.3	—	—	—	—	60.3	
合計	260,000	259,957	60.3	—	—	—	—	60.3	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第454回利付国債（2年）	0.1	260,000	259,957	2025/11/1
合 計		260,000	259,957	

○投資信託財産の構成

(2025年10月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 259,957	% 60.2
コール・ローン等、その他	171,542	39.8
投資信託財産総額	431,499	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年10月14日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A)	資産			431,499,255
	コール・ローン等			171,421,447
	公社債(評価額)			259,957,300
	未収利息			54,974
	前払費用			65,534
(B)	負債			162,885
	未払解約金			162,885
(C)	純資産総額(A-B)			431,336,370
	元本			428,906,307
	次期繰越損益金			2,430,063
(D)	受益権総口数			428,906,307口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,057円

(注) 当ファンドの期首元本額は436,053,084円、期中追加設定元本額は34,636,551円、期中一部解約元本額は41,783,328円です。

(注) 2025年10月14日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	237,562,073円	・アジアリートファンド(毎月分配型)	1,625,705円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	42,240,292円	・全世界超分散株式ファンド	1,451,771円
・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型)	33,158,876円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,266,581円
・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジなし・毎月分配型)	24,353,849円	・アジアREITオープン(毎月分配型)	859,538円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーベースファンド)	11,094,146円	・エマージング・プラス・円戦略コース	550,392円
・エマージング・プラス(マネーベースファンド)	9,837,087円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	311,388円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	7,615,170円	・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型)	293,617円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	5,774,595円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	240,262円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	5,629,859円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	5,510,261円	・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジなし・年4回分配型)	23,544円
・世界標準債券ファンド	4,835,693円	・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジあり・年4回分配型)	22,311円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	4,751,226円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	4,746,016円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・グローバル株式トップフォーカス	4,366,021円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジなし・1年決算型)	3,880,920円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・DC世界株式・厳選投資ファンド	3,465,233円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジなし)	9,979円
・インド株式フォーカス(奇数月分配型)	2,520,790円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジあり)	9,979円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	2,517,156円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジあり)	9,978円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	2,376,905円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジなし)	9,978円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,066,554円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,944,657円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	1,774,182円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円

(注) 1口当たり純資産額は1.0057円です。

○損益の状況

(2024年10月16日～2025年10月14日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		743,589
	受取利息		743,589
(B)	有価証券売買損益		690,355
	売買益		759,798
	売買損	△	69,443
(C)	当期損益金(A+B)		1,433,944
(D)	前期繰越損益金		1,002,224
(E)	追加信託差損益金		129,505
(F)	解約差損益金	△	135,610
(G)	計(C+D+E+F)		2,430,063
	次期繰越損益金(G)		2,430,063

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2024年10月16日から2025年10月14日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第6条)
 - ②法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第45条)
 - ③当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第47条)